opusdei.org

「信仰の美しさは神 に自分を委ねること にある

属人区長はオプス・デイの前 責任者であるハビエル・エ チェバリーア司教の帰天一周 年追悼ミサを捧げた。その説 教と写真を以下に掲載する。

2017/12/13

ハビエル・エチェバリーア司教帰天 一年追悼ミサ説教

エウジェニオ教会、2017年12月12 日

【朗読箇所:知恵の書3,1-9、詩編 129、ローマ14,7-9,10c-12、ヨハネ 11,21-27】

写真集

「わたしを信じる者は、死んでも生きる」(ヨハネ11,25)とイエスは

マリアに言われました。そしてるれました。「ことを信書のことを信書のことを音書主ない。」(ヨハネ11,26)福音書主ない。「コハネ11,26)福音書主ない。「ないないではないである。「人をになってはいるのよりにあるとはでない。「大きないないではない。」(多をいましたがあると信じではないました。といました。といました。といまではないました。といまではないました。といまではないまではないました。

数か月前に重い病気が発見されたある医師の語った話を思い出します。 告知を受けた数日後に、病院で同僚 の医師と出会った際に、友人として 率直に彼からこう言われました。

「あれだけ祈っていたのが、一体何の役に立ったんだい?」彼は答えました。「いいかい、祈ってきたからこそ、今この時、自分と自分の家族は幸せで、落ち着いて、平和のうち

にいることができているんだよ。私たちは神を百パーセント信頼しているし、そのみ旨を受け入れているんだ。」無神論者であるその友人は、涙を浮かべながら、「神を信じることは素晴らしいことだな」と言って去って行ったのでした。

そうです、神を信じることができる のは、なんと素晴らしいことでしょ う。信仰の美しさは、定期的に何か のアイデアを読んだり聞いたりする ことによって得る安易な慰め 一困難 や不確かさに満ちた日々の現実に戻 れば消えてしまうようなもの― にあ るのではありません。信仰の美しさ は、神への委託、神の手の中にいる ことの理解、私たちの内面において 毎日静かに成長していく内的な行い の中にあるのです。特に、私たちの 祈りによって、神のために時間がな いと私たちが思う時でも、また神に 語ることなど何もないと思える時で も、神との対話である個人的な祈り

「主に依り頼む人は真理を悟り、信 じる人は主の愛のうちに主とがこれたちがこる。」(知恵3,9)私たちがこれを表の一節は、この書のこの一切はないまかった。のまたちにのの人生を表しています。からないますがある。というではいるのでいる。ではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいると判断されたからない。 らである。るつぼの中の金のように神は彼らをえり分け、焼き尽くすいけにえの献げ物として受け入れられた。」(知恵3,5-6)

この美しいイメージについて目を留 めてみましょう。るつぼとは、炉の 下部に置いて、貴重な金属と不純物 とを分け、純粋なものとする場所で す。火による浄化は、二つの現実に 特徴付けられる道を表しています。 すなわち、苦しみと愛です。苦しみ とは、愛なる神が私たちの人生に 様々な形で許されるものです。時に それは、私たちの罪や限界が生み出 すものであり、あるいは神が私たち の心の中に置かれた愛という金を生 かし清めるために役立つものでもあ ります。時々気づかずに、私たちと 神との間、あるいは私たちと他者と の間に壁を作ってしまう利己主義や 傲慢といった不純物から、私たちの 愛を清めるために役立つものです。 神はどのようにして苦しみを愛に変 えてくださるのでしょうか。それは、神に向かって私たち自身を開くように促す、神が私たちとずっと保ちたいと望まれている絶え間ない対話を通してです。

ドン・ハビエルは晩年の手紙の中で こう述べられました。「内的な平和 とは、すべてをうまくやり遂げたと 考える人のものでも、愛することに 無関心なひとのものでもありませ ん。いつも、倒れた時でさえ、神の 手の中に戻る人の中に湧き上がって くるものです。| (ハビエル・エ チェバリーア、2016年11月司牧書 簡)ですから、たとえその道を理解 できないことはあっても(イザヤ55. 8参照)、信頼をもって、私たちの 心を清めるに任せることができるよ う、神に願いましょう。御降誕の準 備であるこの期間中、それを願いま しょう。グアダルーペの聖母の祝日 である今日、この願いを聖母に委ね ましょう。聖母は、フアン・ディエ

ゴに言ったように、またドン・ハビ エルが特にこの地上での最後の日々 に理解させてくださったように、私 たちと共にいてくださるからです。 「あなたの母として、ここにいるで はありませんか」(Nican Mopohua, 119)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/javier-echevarria-isshunen-misa/(2025/11/20)